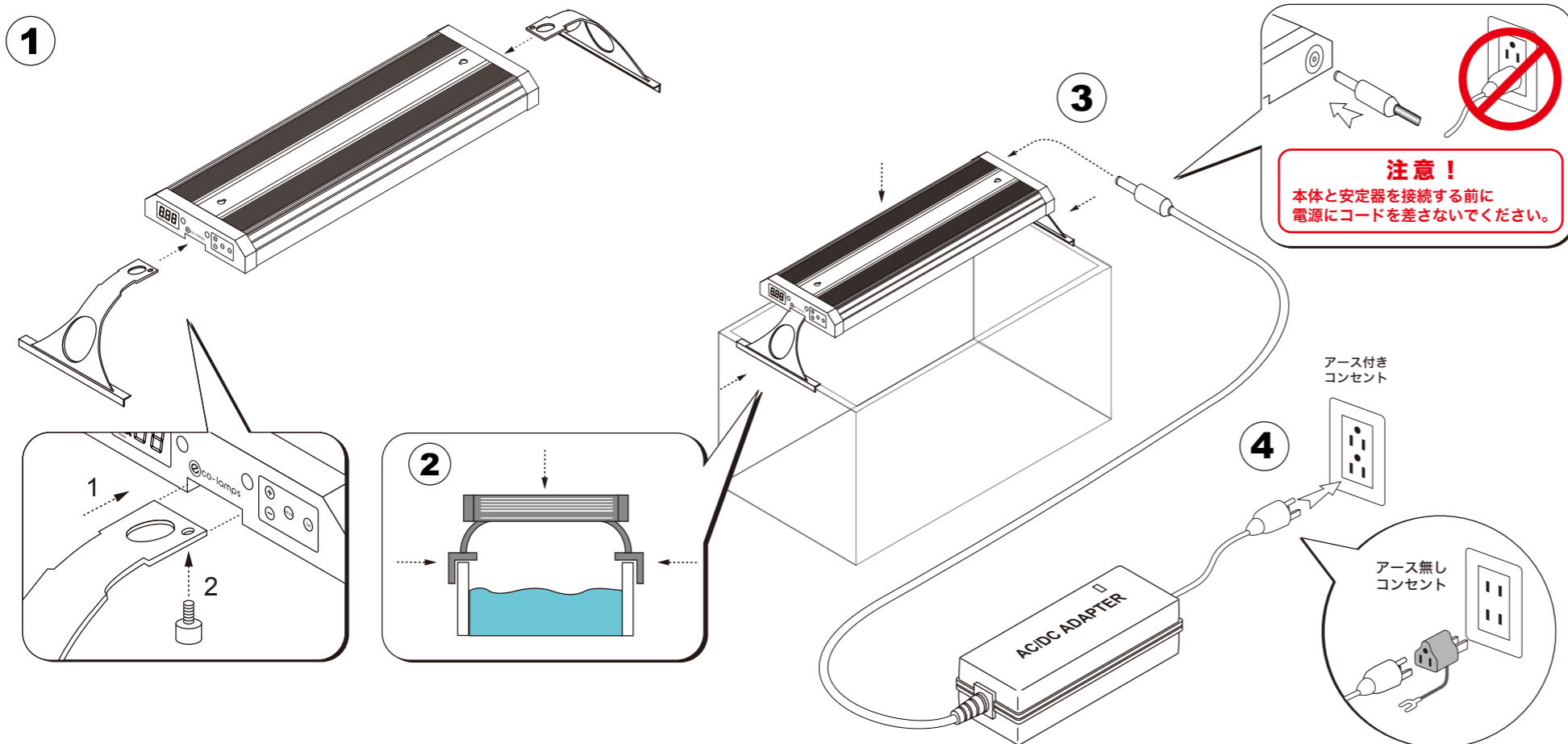
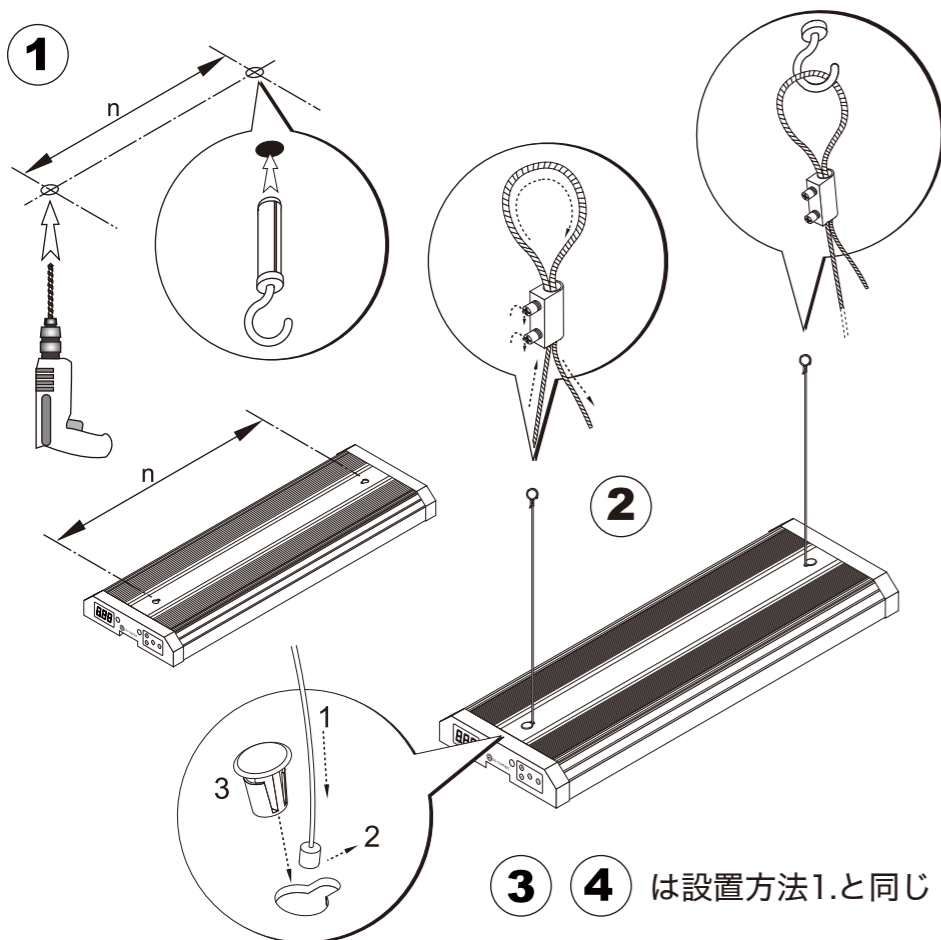


設置方法1. タンクブラケットを用いて水槽へ設置する場合

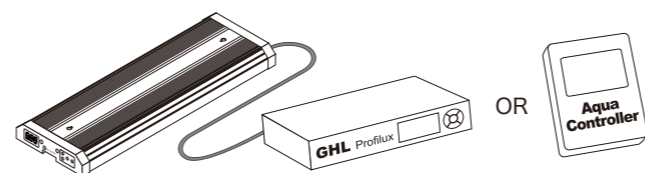


設置方法2. ワイヤーを用いて天井から吊り下げる場合



コントロール

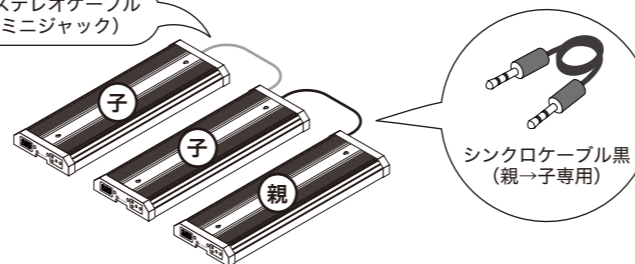
1 Neptune AquaController または GHL ProfiiLux Controller にて制御が可能です。



コントローラーと接続すると、KR本体のコントロールパネルには "OFF" と表示され、コントローラーを外すまでKR本体の操作は受付ません。制御方法は各コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

2 KR本体を複数台接続してシンクロ制御することが可能です。

市販のオーディオステレオケーブル (3.5mmステレオミニジャック)



KR本体を複数台接続する場合、任意の1台をメインコントローラーの親機として、残りをすべて子機としてオフモード "H-O" に切り替えておくことで、親機の設定とシンクロして子機が制御されます。

親機と子機の接続には付属のシンクロケーブル (親→子専用) を使用します。子機から子機への接続には、市販のオーディオステレオケーブルが利用できます。



KRガイド日本語版

KR90 Series

KR90 / KR90DR / KR90FW (2012/12以降のロット対象)



ISO 14001:2008 EMS 554643

製品特徴

- ・水温を上昇させないため、クーラーの負担を減らし、クーラーの稼働率を低減します。
- ・従来の水槽用照明であるメタハラや蛍光灯の代替として使用できます。メタハラをLEDに代えることで、電気代が大幅に節約できます。
- ・設置に必要な部品が同梱されているため、すぐに簡単に設置することができます。
- ・スペクトル重視モデルでは、自然下の水中スペクトルを再現するよう設計され、生体の光合成色素や蛍光タンパクの生育に必要な波長を、バランスよく配合しています。

安全に設置するために

- ・コードが設置する国の条件を満たしていることを確認してください。
- ・製品はコンセントの側に設置し、容易にコードが抜けるようにしてください。
- ・コードを破損したり、擦り切れないようにしてください。
- ・暖房の近くに製品を設置しないでください。
- ・照明製品操作に影響しますのでワイヤーを延長しないでください。
- ・太陽光や高熱に製品をさらさないでください。

警告

- ・製品を掃除するときは、感電を防ぐため、コードを電源から抜いていることを確認してください。
- ・感電を防ぐために、濡れた手でコードを触らないでください。
- ・感電を防ぐために、コードをひっぱらないでください。

注意

自分で修理しないでください。保証が無効になります。

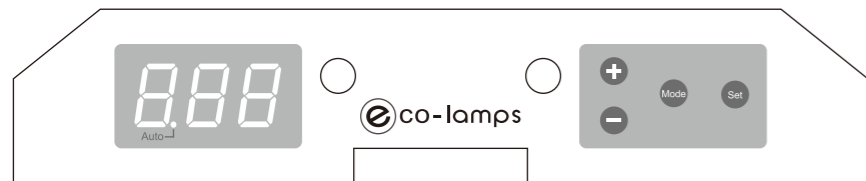


# ユーザーガイド

KR90/KR90DR/KR90FW  
(2012/12以降のロット対象)

## コントロールパネル

KR90/KR90DR/KR90FWのコントロールパネル

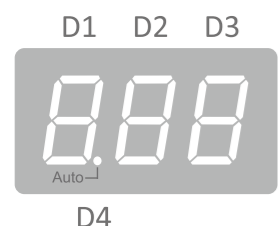


### 1. 4つの機能キー

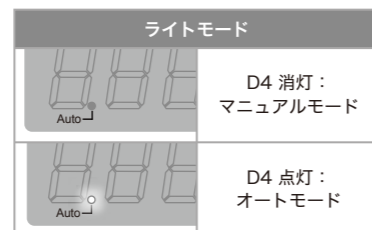
- **+と-** モードの選択や数値を増減させるときに使用します。
- **Mode** マニュアルモードとオートモードの切り替え時に使用します。
- **Set** 設定の開始や値を確定する時に使用します。

### 2. LEDディスプレイ 3桁のLEDと1つのドットで構成されています。

#### ■ D1、D2、D3 LED



#### ■ D4 LED



平常時の待機画面では現在時刻、時 (例 **H01**) と分 (例 **05**) が3秒毎に交互に表示されます。

#### マニュアルモード設定

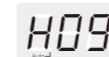
<b>H-0</b>	オフモード: "Set" ボタンにて時計合わせができます。詳しくは <b>メモM-1</b> をご覧ください。
<b>H-1</b>	調光設定モード: 白光・青光のいずれも 0-99% まで調整できます。詳しくは <b>メモM-2</b> をご覧ください。
<b>H-2</b>	
<b>H-3</b>	
<b>H-L</b>	雷モード: 発光を点滅させ擬似的に雷のような状態を作ります。
<b>H-d</b>	店頭デモモード: 詳しくは <b>メモM-3</b> をご覧ください。

#### オートモード設定 (デフォルト"d.EF"の設定値)

タイマー	開始時間	白ch %	青ch %
.t1	01:00	05	10
.t2	08:00	10	20
.t3	09:00	50	50
.t4	11:00	80	80
.t5	17:00	50	80
.t6	18:00	10	80
.t7	21:00	00	50
E.nd	23:59	-	-
L.-n	(12:00)	(分)	-

### メモM-1: 時計合わせ方法

- "Mode" ボタンを押してマニュアルモードに切り替えます (D4 消灯)
- "+/-" ボタンを押して "H-0" に切り替えます。  
"Set" をクリックします。
- "+/-" ボタンを押して時間を入力します。  
"Set" をクリックします。
- "+/-" ボタンを押して分を入力します。  
"Set" をクリックして完了します。



### ■マニュアルモード

- "Mode" ボタンを押してマニュアルモードに切り替えます (D4 消灯)
- "+/-" ボタンを押してライトモードを選択します。  
▷ 調光設定モード "H-1" ~ "H-3" の設定方法は **メモM-2** をご覧ください。  
▷ 雷モードはランダムに発光を繰り返します。  
▷ 店頭デモモードについては **メモM-3** をご覧ください。

### メモM-2: 調光%の設定方法

※チャンネルと光色については **メモM-4** をご覧ください。

- "Set" を押すと右の図のように表示されます。  
"+/-" ボタンで白光の強度を00-99% まで設定します。
- "Set" を押すと右の図のように表示されます。  
"+/-" ボタンで青光の強度を00-99% まで設定します。
- "Set" を押すと設定が保存され、調光設定を終了します。



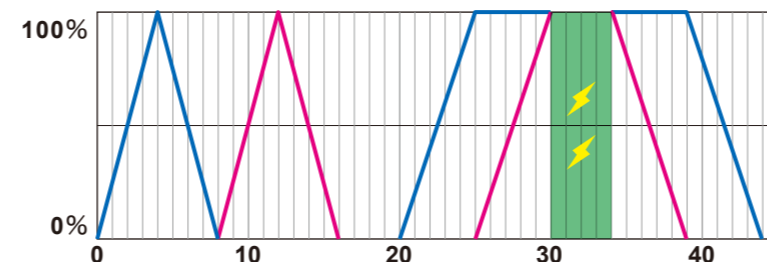
### メモM-3: 店頭デモモード

"HA-d" は店頭デモモードです。

- 青光 0% → 100% → 0% (8秒)
- 白光 0% → 100% → 0% (8秒)
- OFF (4秒)
- 青光 0% → 100% (5秒)
- 白光 0% → 100% (5秒)
- 雷光 (2回/4秒)
- 白光 100% → 0% (5秒)
- 青光 100% → 0% (5秒)

※機種により見た目の光色とチャンネル素子量が異なります

機種	光色	素子比率	光色
KR90	白光	2:1	青光
KR90DR	白系	1:2	青系
KR90FW	白系	2:1	暖色系



### ■オートモード

- "Mode" ボタンを押してオートモードに切り替えます (D4 点灯)  
"Set" ボタンを押してオートモードの設定編集を開始します。
- "+/-" ボタンを押して、組み込みのデフォルト設定 "d.EF" またはユーザー設定 "U.SE" のいずれかを選択し、"Set" ボタンを押します。  
▷ "d.EF" を選択した場合、設定は終了し、デフォルトのプログラムが開始されます。  
▷ "U.SE" を選択した場合、続いてタイマーと雷の設定に移ります。



### ●ユーザー設定 "U.SE" の設定方法

- ".t1" 表示を確認し "Set" ボタンを押します。  
"+/-" ボタンと "Set" ボタンを押して、時間と分を入力します。  
時間は "H.00" 様式、分は "n.00" 様式で表示されます。  
続いて白 ch と青 ch の光量を入力します。  
白 ch は "u.99" 様式、青 ch は "b.99" 様式で表示されます。  
上記の操作を ".t1" から ".t7" まで繰り返し続けます。
- "E.nd" 表示を確認し "Set" ボタンを押します。  
"+/-" ボタンと "Set" ボタンを押して、消灯時間を入力します。
- "L-y" または "L-n" のいずれかの表示を確認し、"+/-" ボタンを押して、もし雷モードを使用するなら "L-y" を、使用しないなら "L-n" を選択し、"Set" ボタンを押します。もし "L-n" を選択した場合は以上で設定は完了です。  
"L-y" を選択した場合は、続けて雷モードを開始する時間を入力し "Set" ボタンを押します。最後に雷の継続時間(分)を入力して "Set" ボタンを押せば、設定はすべて完了です。



- オートモードのユーザー設定をご使用の際は、工場出荷時のタイマー設定内容がずれている場合がありますので、必ず設定内容をご確認の上、必要に応じて設定を変更の上ご使用ください。
- タイマーの切り替わり時は、徐々に明るさが変化して設定条件の明るさになりますので、設定した明るさに達するまでに数秒~数分程度かかる場合があります。
- "Mode" ボタンを押すと設定画面を終了することができます。
- "Mode" ボタンを7秒間押し続けるとユーザー設定が初期化されデフォルト設定内容で上書きされます。

#### 設定間違いの例

"t1" の開始時間を7:00にし、"t2"の開始時間を6:00にし、"t3" の開始時間を9:00に設定すると "t2"は行われません。"t2" の設定時間を "t1"と "t3"の間にしてください。

### 付属品

